

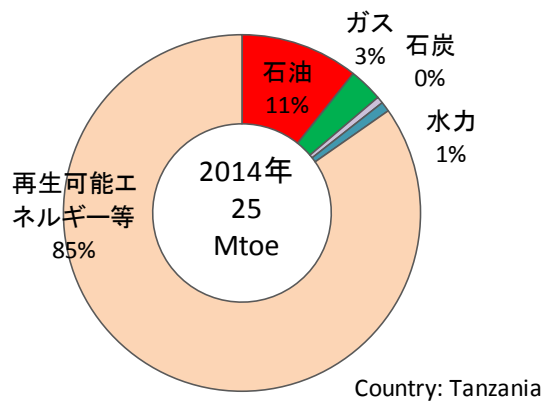
5-14 タンザニア

1. サマリー

1. エネルギー事情

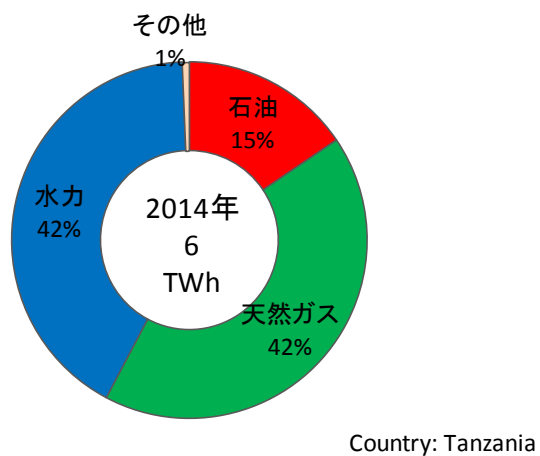
- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 25 百万 toe (日本の 0.06 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2014年) : 0.48toe (日本の 0.14 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 89%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 10.4 百万 CO₂ton (日本の 0.9%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 0.20CO₂ton (日本の 2.1%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) : n. a.

一次エネルギー供給構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- タンザニアのエネルギー・資源開発はエネルギー鉱物省 (Ministry of Energy and Minerals) が管轄しており、各種政策が実行されている。また、電力・水道・石油・ガス事業の規制・管轄についてはエネルギー・水利規制庁 (The Energy and Water Utilities Regulatory Authority; EWURA) が担当している。
- 資源開発は、国営のタンザニア石油開発公社 (TPDC) が管轄している。現在、TPDC は外資系企業とともにガス田開発を行っている。
- 電力事業はタンザニア電力供給公社 (Tanzania Electric Supply Corporation; TANESCO) が独占しているが、離島の Zanzibar はザンジバル燃料電力公社 (Zanzibar State Fuel & Power Corporation) が電力供給を行っている。

(2) 基本政策

- タンザニアでは、沿岸部の陸上から大水深部にかけてガス田が発見されている。国内の電力需要増加に合わせて、2000 年ごろから浅海部のガス田開発が行われ、これまでに Songo Songo ガス田と Mnazi Bay ガス田の生産が行われている。
- 2010 年以降、大水深部を中心に大規模なガス田が発見されており、生産や利用についての検討が進められている。2013 年には天然ガスの開発・利用に関する基本政策である「タンザニア国家天然ガス政策」(The Natural Gas Policy of Tanzania) が発表された。
- 経済・人口成長に伴い電力需要が増加する一方で、既存送電インフラの老朽化などの問題を抱えている。電源構成を、水力発電からガス火力発電へ切り替えを進めている。

(3) 最近の動向

- 2016 年 4 月、ウガンダ Hoima からタンザニア Tanga 港を結ぶ総延長 1,403km(860mile)、送油能力 20 万 b/d の原油輸出パイプライン建設 (総工費 40 億ドル) が、両国政府により発表された。この決定を受けてタンザニアは、ウガンダが 25 億ドルで新設する製油所 (6 万 b/d) の権益 8%を所有する。また、同原油パイプラインの輸送料金は 12.2 ドル /bb1 と試算されている。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- 2016 年 3 月、ガスと蒸気を併用する高効率の複合型発電所建設に関して、住友商事が建設事業を取りまとめ、東芝プラントシステムと三菱日立パワーシステムズが参画することになった。受注額は 350 億円で、2018 年の稼働開始を目指す。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Tanzania

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		25 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.48 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.61 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		89 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		10.4 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		0.20 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	1 %
	石油	11 %
	天然ガス	11 %
	原子力	0 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	85 %
(8) エネルギーの輸入依存度		11 %
(9) 石油の輸入依存度		100 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸入先	第1位	-
	第2位	-
	第3位	-

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA